

令和 5 年度 事業報告書
(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人おおきな木

1 全体の振り返り

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後の新しい日常も定着しつつある中、新たな不安材料として社会全体で慢性的な人材不足が見られる様になった。当法人においても、新たな目標を設定し継続して取り組んでいる人材育成や新規事業開拓、内外への情報発信・共有等、成果が見られるところもあるが、会員やスタッフ等人材確保の点においては課題も多く、今後も継続的な努力が必要。

2 事業実施に関する事項

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (円)
1. 市民活動を支援する事業					
日光市民活動支援センター 施設運営事業	R5 年 4 月 ～ R6 年 3 月	日光市民活動支援 センター	10 人	市民活動団体・市民	14,117,981

〈事業の成果と課題〉

新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行したが、市内では依然として活動に制約を受けている団体も存在する。そのため、通常支援に加え安心安全に配慮した支援も引き続き意識して支援を行った。中でも活動の周知を図り、担い手不足を解消するために交流の場や人材育成、情報発信・啓発に注力した。また、潜在的な担い手を見出し、既存の人材のスキルアップを支援することで、組織の持続可能な発展を目指した。さらに、IT 相談の需要が増加している中で、IT 関連のリテラシーやスキル向上、相談窓口の充実を図った。この取り組みにより利用者が増加し、より多くの人々が利益を享受できる環境を整備した。安全に配慮し必要な支援策を提供することで一定の成果を上げることができたが、今後も変化する社会ニーズに対応しながら、地域の発展と施設の利用率の向上に引き続き貢献したいと考えている。

■市民活動の拠点に関する施設運営事業

日光市民活動支援センターの指定管理者として、昨年度に引き続き施設管理業務、団体登録業務、会議室・ホール・作業室（ロッカー、活動備品、複合機/印刷機）貸出、市民活動に関する情報収集・発信業務、市民活動相談・支援業務、研修開催、交流スペース整備等の施設管理運営を行った。

①	実施日時	通年（開館実績 356 日）
②	実施場所	日光市民活動支援センター
③	従事者	10 名
④	受益対象者	市民活動関係者、市民

(i) ボランティア、市民活動に関する相談受付

市民活動団体の運営や NPO 法人化の相談受付、必要に応じてボランティア、活動団体、関係機関の紹介などのコーディネートによる活動支援を実施。団体活動の動きと共に運営で使うパソコンやスマートフォンの支援依頼や相談が増加している。

●相談件数（月別）

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計 (件)
R5 年度	17	21	19	20	17	19	22	24	34	37	30	15	275
R4 年度	12	10	12	14	17	15	18	23	22	24	22	18	207
R3 年度	21	13	14	14	15	15	9	10	20	19	23	24	197

●相談内容内訳

年度	組織運営	市民活動 ボランテ ィア	生活	パソコン (IT 全般)	その他	合計 (件)
R5 年度	40	89	20	73	53	275
R4 年度	27	89	14	53	24	207
R3 年度	23	100	9	35	30	197

(ii) 拠点活用による活動支援

会議室やホール・備品・ロッカー貸出や、団体運営に関する図書・資料の整備にて、市民活動団体の活動支援を実施。活動を再開する団体が昨年度に続き増加傾向にあり施設利用者も増加している。

●会議室等利用件数（月別）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)
R5年度	1,305	1,263	1,312	1,458	914	1,359	1,514	1,511	1,286	1,289	1,406	1,305	15,922
R4年度	1,365	1,228	1,160	1,346	572	1,233	1,410	1,296	1,032	1,076	1,218	1,375	14,311
R3年度	1,426	1,262	1,268	1,123	89	53	1,456	1,282	1,038	1,019	941	1,017	11,974

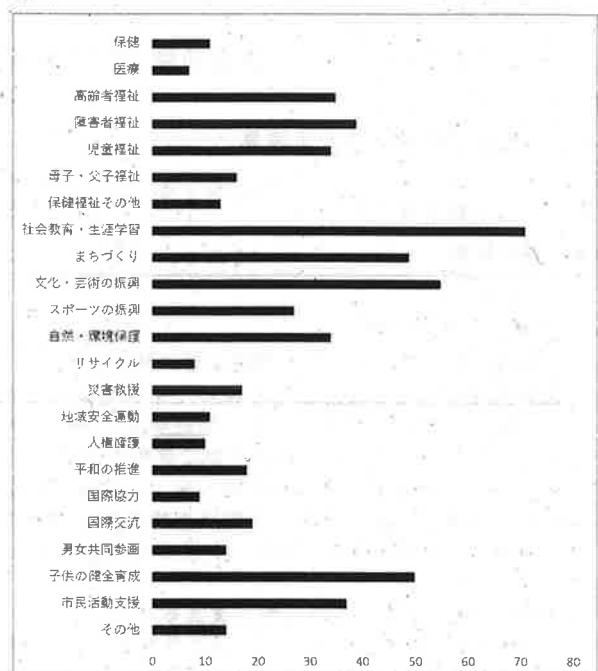
(iii) 市民活動支援センター団体登録支援

NPO法人、市民活動団体の設立・運営支援を実施。

●登録団体件数

年度	新規	解散・休止	合計
R5年度	11	6	182
R4年度	13	10	177
R3年度	10	2	174

●登録団体ジャンル毎のグラフ



(iv) 市民活動支援能力向上を目的とした会議・研修参加

公益活動支援に必要なスキル取得やネットワーク構築を目的に各種研修への参加や協力。

●参加会議・研修

開催日	研修名	主催	参加人数
4月21日	令和5年度市町NPO・協働担当者等会議	栃木県県民生活部県民文化課 県民協働推進室	1人
5月16日 1月26日	中間支援センターネットワーク情報交流会	とちぎボランティアNPOセンター「ぼ・ぼ・ら」	1人
8月22日	生活困窮者自立支援事業 就労準備プログラム	日光市生活相談支援センター	2人
8月22日 12月21日 2月28日	男女共同参画社会づくり市民会議	日光市企画総務部総務課 人権・男女共同参画推進係	1人
8月7日 10月25日	日光モソモソ REKITSUKU 会議	日光市企画総務部総合政策課	1人
10月2日	日光市協働のまちづくり職員研修会	日光市地域振興部地域振興課 協働推進係	1人
11月23日	苦しみの中で見え始めた「自分らしい生き方」 ～ひきこもりを否定せず そのまま進めばいい～	日光市ひきこもり相談センターかがやき	1人
2月26日	視察：コミュニティ・カフェ EMANON	宇都宮大学 地域デザインセンター 日光市企画総務部総合政策課	1人
3月18日	NPOのためのファシリテーション研修	NPO法人おおきな木	1人

■人材育成・団体設立・運営等の研修事業

昨年度に行った事業の延長として、公益活動の担い手育成と持続可能な活動支援を目的に①NPO 法人向け専門支援を実施。また、潜在的な担い手の見出しとして②情報格差をなくすための機会創出、③インクルーシブなアプローチの強化等にて、各種支援をバランスよく拡充しより包括的かつ効果的な支援体制の構築と事業を実施した。

①	日時	通年
②	場所	日光市民活動支援センター
③	従事者	6 名
④	受益対象者	市民活動関係者、市民

●実施事業

テーマ	開催日	講座名	講師	参加人数
NPO 法人向け専門支援	6 月 28 日	会計税務および労務に係る専門家相談会 主催：とちぎボランティアNPOセンター「ぼ・ぼ・ら」 共催：日光市民活動支援センター	とちぎボランティアNPOセンター「ぼ・ぼ・ら」	3 団体
	3 月 18 日	NPO のためのファシリテーション研修 主催：NPO 法人おおきな木 共催：日光市民活動支援センター	杉村 郁雄氏	19 人
	3 月 30 日	NPO 法人向け 会計&税務無料相談会	税理士法人ワイズティー	延期
「参加」の制約を抱える方の受け入れ体制を知る～日光でできるインクルーシブボランティア～	11 月 27 日	封筒ラベル貼り体験	日光市民活動支援センター	3 人
	12 月 8 日	使用済み切手	日光市民活動支援センター	3 人
	12 月 11 日	LINE・地域情報発信のボランティア	日光市民活動支援センター	4 人
	12 月 27 日	書き損じはがき	日光市民活動支援センター	5 人
	1 月 6 日	《緊急》寄付・募金の種類	日光市民活動支援センター	3 人
	2 月 23 日	イベントボランティアこんなのあるよ	日光市民活動支援センター	3 人
最近話題の『キーワード』を知ろう～情報格差をなくす・多様な学びや体験機会の創出～	10 月 30 日	コミック会話ってなんだろう？	日光市民活動支援センター	2 人
	11 月 13 日	SNS のあたらしいかたち？ディスコードってなんだろう	日光市民活動支援センター	3 人
	11 月 17 日	フリートーク会～叱る怒るってなに～	日光市民活動支援センター	3 人
	12 月 4 日	インクルーシブボランティアって何？	日光市民活動支援センター	3 人
	12 月 15 日	VR: Virtual Reality (バーチャル・リアリティ) 体験	日光市民活動支援センター	7 人
	12 月 18 日	身の回りの物理と数学の話	日光市民活動支援センター	3 人
	1 月 5 日	《緊急》募金の種類 (支援金・義援金)	日光市民活動支援センター	3 人
	1 月 12 日	《緊急》震災で困る人	日光市民活動支援センター	4 人
	1 月 19 日	フリートーク会～日光市の取組みラレーション～	日光市民活動支援センター	4 人
	1 月 21 日	折り紙で作る多面体	日光市民活動支援センター	6 人
	1 月 22 日	カンボジアの地雷撤去のお話	日光市民活動支援センター	3 人
	1 月 26 日	chatGPT って何？	日光市民活動支援センター	3 人
	1 月 31 日	LINE で句点『。』は誤解を招く？ハラスメントのお話	日光市民活動支援センター	3 人
公益団体の IT リテラシー向上・IT 格差を減らし皆が活躍できる支援	7 月 15 日	プログラミングのお仕事 主催:なんとなくのにわ 共催: 日光市民活動支援センター	NPO 法人なんとなくのにわ 手塚 郁夫氏	10 人
	10 月 24 日	市民に役立つホームページと情報発信の考え方～アクセス解析からわかるこれから情報発信に必要とされる小さなコツ～	Web アドバイザー 青山 裕之氏	7 人
	通年	公益活動団体のための“情報発信”講座 (SNS 活用支援)	日光市民活動支援センター	6 人
	通年	IT リテラシー向上講座 (パソコン・スマホ・オンライン相談会)	日光市民活動支援センター	73 人
協働に携わる人材育成・交流事業	6/3 8/12 9/23 11/25 1/27 2/24	ボラフェス企画会議 主催: ボランティア市民活動フェスタ実行委員会 共催: 日光市民活動支援センター	ボランティア市民活動フェスタ実行委員会	20 人

■情報の収集と提供に関わる事業

地域特有の情報伝達課題へのアプローチとして、インターネットツール（ウェブサイトやLINE）と紙面による広報媒体を活用した市内の幅広い層に情報が届けられるように情報環境の整備に積極的に取り組んだ。その他、補助金をはじめとした団体支援に関する情報の提供を今年も直接の手渡しや架電、郵送にて行い、団体活動継続支援を実施した。

①	実施日時	通年
②	実施場所	日光市民活動支援センター
③	従事者	6名
④	受益対象者	市民活動関係者、市民

（i）インターネットを活用した情報発信

専用ウェブサイトやLINEの運営にて、施設サービス情報、登録団体・活動情報、助成金等の各種支援をリアルタイムで配信する事で利用者の利便性向上と施設の認知向上を目的とする取組み。

▶幅広い市民活動情報を定期的にウェブサイトで発信する事で、様々な属性の方が市民活動情報に触れるきっかけを作った。その結果、施設利用希望者の増加、団体間連携の相談、メディアからの取材等の効果が生まれている。

（ii）紙面による情報発信

市民活動情報誌“にこっと”を定期的に発刊し、インターネットの利用が苦手な方にも市内の公益情報に触れる機会を作る取り組み。

▶「情報紙を読むことで他の交流団体を知る事につながった」、「インターネット利用ができないので助かる」等の声が届き紙媒体の重要性を実感している。

（iii）団体活動情報の拡散支援

市内活動団体の広報資料掲示スペースの整備し、団体の最重要課題である団体情報周知（サービス利用、会員増加、担い手潜在層の発掘等を目的とする）を支援する取組み。

▶補助金・助成金の情報収集と情報提供は今年度も力を入れており、情報を見た利用者から申請に関する問い合わせの増加やコーディネートにつながった。

（iv）団体活動取材

コーディネーターが活動団体のもとに出向き、活動内容を取材させていただき取組み。訪問時には活動に対する悩みや支援案などのヒアリングを行い、回答内容を重要な生の声として持ち帰り支援案の検討に役立てている。

▶団体活動支援として団体の活動取材に訪問。現場訪問を行う事で団体活動の深い理解につながった。また、活動者に直接ヒアリングができることで直近の悩みや課題把握につながり支援案の検討にも役立っている。

（vi）インターネットを活用した広報スキルの勉強会

団体自らの情報発信の理解と能力の向上を目的にウェブサイトやSNSを活用した情報発信の勉強会を行う取組み。

▶団体自ら情報の蓄積や情報の発信を行うために「情報の重要性」を理解する事で、自らの発信に対する意識を見直す機会となり、市内公益活動の情報蓄積につながっている。

■交流連携の促進及び支援に関わる事業

公益活動の担い手不足課題に対する啓発や担い手の育成・発掘を目的に、幅広い層を対象とした施策を展開する事業。各種研修や学びの場の提供、ウェブやSNSなどのコミュニケーションツールや紙面を活用し、さらにボランティア市民活動フェスタの事務局として交流・連携の促進を行った。

①	実施日時	通年
②	実施場所	日光市民活動支援センター
③	従事者	6名
④	受益対象者	市民活動関係者、市民

（i）団体紹介 小規模交流会

社会貢献活動の普及・啓発と非営利セクターと他主体が出会う協働の場として、小規模交流会を人材育成事業と絡めて実施。テーマ軸を複数設ける事で多様な人材の交流の場づくりを行う取組。

▶安全に配慮し5名～10名程度の小規模交流会を様々なテーマを題材に実施した事でこれまで関わった事のない方々にも参加していただき人材交流と啓発につなげる事ができた。

（ii）市民活動情報誌

団体情報を届ける紙面の配布頻度とウェブツールを使った配信を増やし間接的に団体間交流を推進する取組。

▶情報受信者の前向きな声として、他団体の活動や施設の情報を知る事の出来る“コミュニケーションツール”になっている等、単に情報を届けるだけに留まらず、対面が困難な場合での間接的な交流機会の創出にも貢献した。

（iii）事務局／ボランティア・市民活動フェスタ

市内公益活動団体の周知や公益活動の啓発イベント「ボランティア・市民活動フェスタ」事務局としてのボランティア市民活動フェスタ実行委員会の各種手配等の運営サポートにて実行委員と共に事業目標に向けた活動を行う取組。

▶実行委員と共にイベント実施に向けた運営に携わった。当日以外の交流事業としては実行委員と共に実行委員以外の関係者にも事業運営に携わってもらった仲間づくりの協働企画として『企画会議』を開催した。

実行委員会：14回／実行委員メンバー：11名

企画会議：6回／企画メンバー：18名

■調査研究、政策提言、行政等との連携事業

市内公益活動団体へのアンケートを根拠に、各団体の活動情報や助成金・補助金情報の提供、将来的の担い手育成に関する事業を行政と連携を図りながら検討・実施した。

その他、スマートフォン所有率の向上に伴い IT ツール活用の推進や参加の制約を抱える人々への支援策の検討などを行い引き続き次年度の実施計画に反映させる計画を立てている。

①	実施日時	通年
②	実施場所	日光市民活動支援センター
③	従事者	5 名
④	受益対象者	市民活動関係者、市民

■その他（ICT 推進に関する各種施策）

団体支援の一つとして IT リテラシー向上や ICT を活用した支援案に関する事業の検討・実施を行っている。

インターネットツールを活用した活動希望の増加

世代問わずインターネット環境の利用が身近になっている事を施設管理の中で実感している。活動運営のためのオンライン会議や SNS 等のコミュニケーションツールの活用に関する相談件数が昨年度に続き増加傾向にある。スマートフォンが普及したことでシニア世代の IT リテラシーがより高まった結果インターネットを活用した情報収集や情報発信、連絡やコミュニケーションを希望する声が増えている。

▶これまで紙媒体が主の情報発信を行っていたが IT リテラシーの向上に伴った声の拾い上げとして既存ウェブサイトの拡張やその他インターネットツールを活用した情報発信の整備も行い多方向からの活動周知・啓発普及を支援していく。

先駆的開発モデル事業	R5 年 4 月 ～ R6 年 3 月	日光市民活動支援 センターほか	2 人	市民活動団体・市民	62,040
------------	---------------------------	--------------------	-----	-----------	--------

<事業の成果と課題>

一昨年度より取り組んできた「次世代（リーダー）育成」については、今年度、具体的なプログラムの実施には至らなかったが、これまで研修等に参加してきた実践者が 2001 年国際ボランティア年を契機に開催してきた「ボランティア・市民活動フェスタ」の実行委員会の中心的役割を担い活躍したり、それぞれの専門分野においても精力的に活動するなど、次世代のリーダーとして成長している様子が垣間見れた。

また、ソーシャルセクターにおいても、会議や各現場におけるメンバー間の合意形成や連携・協働の場面などにおいて必要なスキルでありながらもなかなか習得する機会の少ない「ファシリテーション」に関する研修を実施することで、個々の基礎的なスキルアップや、課題解決力の向上に貢献できた。

■市民活動を支援する事業

(i) NPO のためのファシリテーション研修会

実施日 令和 6 年 3 月 18 日（月）13：30～16：30

会場 日光市民活動支援センター

内容 ファシリテーションの基礎

講師：杉村 郁雄 氏（プロセスクリエイト代表）

参加者 19 名

2. 災害発生時の救援および被災地域の復興を側面から支援する事業

■日光市災害ボランティアセンター運営連絡会への参加

近年頻発する災害に対して、災害ボランティアセンターが機能的に運営されることが望まれるため、会議を通して改めてスタッフに対する運営への意識向上と役割の再確認を行った。また、実際に被災地において災害支援活動を行うとともに、被災者の状況や災害ボランティアセンターの運営を体感し、日光市災害ボランティアセンターの運営にフィードバックするためのふり返りを行なった。

さらには、日光市災害ボランティアの日の普及啓発活動として、ボランティア・市民活動フェスタにおいて住民の防災意識の向上を目的とした防災事業を実施し、自助・共助による減災意識を高める一助とした。

(i) 会議

開催日	主な協議事項等	主 催	参加人数
7 月 25 日 9 月 25 日 12 月 11 日	災害ボランティアセンターの概要および運営連絡会の役割について再確認 災害ボランティア派遣支援事業について 災害ボランティアセンターに関する研修会について 日光市災害ボランティアの日普及啓発事業について	日光市災害ボランティアセンター運営連絡会	各 1 人

(ii) 被災地支援・防災意識啓発事業

開催日	研修内容	主 催	参加人数
10 月 2 日	ボランティア派遣事業（支援先：福島県いわき市災害ボランティアセンター）	日光市災害ボランティアセンター運営連絡会	1 人
3 月 19 日	日光市災害ボランティアの日普及啓発事業（ボランティア・市民活動フェスタにおいて）	日光市災害ボランティアセンター運営連絡会	1 人

3. 社会的課題解決に向けた事業

日光市ひきこもり相談センターかがやき運営事業	R5 年 4 月 ～ R6 年 3 月	日光市ひきこもり相談センターかがやき	4 人	市民	6,116,566
------------------------	---------------------------	--------------------	-----	----	-----------

<今年度のひきこもり等に関する相談・就労支援と課題>

今年度は相談員（公認心理師）を1名増員し、キャリアカウンセラーによるキャリア相談、公認心理師による心理相談を設定して相談日カレンダー上で周知することで、来所相談のきっかけづくりを試みた。相談件数への大きな影響は見られないが、相談者の相談内容は多岐にわたり、就労や社会参加までの支援が長期に及ぶことから、多様なニーズに対応できる相談体制を維持しつつ、他機関との連携により細かで途切れない支援に繋げている。

■講演会やイベントの開催

ひきこもり相談の多くは継続した相談支援の難しさがある。そのため定期的な講演会やイベント、親子の会等を開催し、相談のしやすさや再来所のきっかけづくり、ひきこもりへの理解を深めている。新型コロナが5類感染症に移行後、多くの方に参加して頂き、ひきこもりへの理解を広げる事が出来た。

(i) ひきこもり支援講演会の実施（2回）

実施日 令和5年11月23日（木）13:30～16:00

内容 講師：本多 寿行 氏

講演「悲しみの中で見え始めた「自分らしい生き方」」

参加者 43名

実施日 令和6年3月30日（土）13:30～15:00

内容 講師 稲葉 庸介 氏

講演「体験談」

参加者 14名

(ii) 親子の居場所支援

5月から5回開催し、21名（延べ）参加

内容：ビンゴ大会、夏祭り、ポッチャ大会、ストラックアウト等

■相談内訳と相談件数

新型コロナが5類感染症に移行後、イベントや講演会の通常開催が可能になったことから、チラシ配布を兼ねた訪問支援が増え、ひきこもっていてかがやきへ来られない本人と会い話が出来ると等の成果を上げている。本年度も引き続き就労や社会参加への道筋をつけていきたい。

(i) ひきこもり等に関する相談支援

相談件数 590件、内訳 福祉制度やサービスの利用等に関する支援・不安の解消・情緒不安定に関する支援、人間関係に関する支援、居場所支援など

●相談内訳

	訪問	来所	同行	電話	メール	関係機関との連携	居場所
R5年度	94	48	0	118	16	32	282
R4年度	76	56	0	129	30	19	281
R3年度	80	42	20	89	22	28	390

●相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	31	57	41	60	48	57	39	50	51	59	48	49	590
R4年度	40	29	49	48	47	52	55	75	56	36	57	47	591
R3年度	61	52	49	61	32	59	66	67	64	53	60	47	671

■ひきこもり相談支援能力向上を目的とした研修参加

ひきこもり支援に関するスキルの向上及び、地域資源の活用・連携を目的に参加。

●参加研修・講習・ケース会議等

内容	講師/関係機関	回数
月例会・学習講演会・周年記念講演会	ベリー会	9
支援検討会議	かがやき	13
支援調整会議	社会福祉協議会生活相談支援センター	1
圏域ケア会議・他機関との会議	包括支援・障がい児実務者協議会・若者自立支援ネットワーク	61
ケース会議	社会福祉課	1

■周知活動とニーズの掘り起こしに関わる活動

ひきこもりの相談は心理的なハードルが高く、支援機関の情報が入っても相談に赴けずにいる家庭が多数ある。講演会等を利用し、かがやきへの理解と、相談ニーズの掘り起こしをするため周知活動を行っている。

(i) チラシの配布

市民活動支援センター、各地区包括支援センター、行政（社会福祉課、家庭児童相談）、なんとなくのにな、ちいさなき、はばたき、かがやき（ご家族、ご本人）、ベリー会（ご家族、ご本人）等

(ii) ホームページ

イベントや講演会、相談日カレンダーなどの周知活動や当事者手作り作品の販売情報などの発信

利用者数 295 人 総閲覧者数 5,220 ページ

(iii) SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を活用した情報発信

ツイッターによる情報発信 インプレッション数 140 件

LINE による情報発信

コロナ禍以前同様にホームページや SNS でのイベント情報の事前連絡、告知を行った。また今年度は相談日カレンダーをホームページ上に毎月アップロードした。

オアシス支援施設 ちいさなき	R5 年 4 月 ～ R6 年 3 月	オアシス支援施設 施設ちいさなき	5 人	市民	6,033,054
-------------------	---------------------------	---------------------	-----	----	-----------

＜事業の成果と課題＞

利用者年間平均 5 人と利用者数も安定した一年となった。年々高齢化になってきているが、日々元気に楽しく通所していただけた。独居の利用者も多いので孤立することなく、外出も更に楽しんでいただけた一年となった。高齢化に伴い、利用者全体が足腰等に不安を抱きながらの外出となるため、以前よりも外出の機会は減ってしまった。しかし外出は、普段から遠出をすることが難しい利用者の楽しみや活力となっているので、体調の変化等気を付けながら、今後も月 2 回の外出の機会を維持していきたい。

オアシス事業が、介護保険サービス「通所型サービス B」への移行 3 年目に入った。日常的に地域包括センターとのコミュニケーションが取りやすくなり、利用者共々相談の機会も増え、運営面でプラスとなっている。

●利用者数（月別）

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計 (人)
R5 年度	90	81	101	95	91	96	97	90	90	90	100	102	1,123
R4 年度	100	87	110	104	81	99	100	187	111	80	81	100	1,134
R3 年度	76	90	95	111	84	103	109	105	110	93	59	96	1,154

■普段の活動内容

マクラメ編みなどの小物づくり、石窯料理教室、太極拳やリンパ腺体操、脳トレ体操、整体マッサージ、塗り絵、折り紙、お買い物、語り部、歌、認知症に関する勉強会、出前講座、お誕生日会、季節にあわせた行事、外出県内各地

■利用者登録数

施設利用者登録数 107 名 （令和 5 年度新規登録 3 名）

4. 法人運営

■会議等の開催

(i) 総会の開催

区分	開催日	会議名/会場	主な議案等	参加人数
通常	6月13日	第22回通常総会 ／日光市民活動支援センター	令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画(案)・予算(案)	21人

(ii) 理事会の開催

回数	開催日	会議名/会場	主な議案等	参加人数
1	4月11日	第1回理事会 ／日光市民活動支援センター	令和5年度(第22回)通常総会準備ほか	8人
2	5月9日	第2回理事会 ／日光市民活動支援センター	令和5年度(第22回)通常総会準備ほか	8人
3	6月9日	第3回理事会 ／日光市民活動支援センター	令和5年度(第22回)通常総会準備ほか	8人
4	6月13日	第4回理事会 ／日光市民活動支援センター	代表理事の選任(互選)	8人
5	7月11日	第5回理事会 ／日光市民活動支援センター	各事業所報告ほか	8人
6	9月12日	第6回理事会 ／日光市民活動支援センター	各事業所報告ほか	8人
7	11月14日	第7回理事会 ／日光市民活動支援センター	各事業所報告ほか	8人
8	1月10日	第8回理事会 ／日光市民活動支援センター	各事業所報告ほか	8人
9	2月13日	第9回理事会 ／日光市民活動支援センター	各事業所報告、法人事業企画ほか	8人
10	3月6日	第10回理事会 ／日光市民活動支援センター	各事業所報告、法人事業企画ほか	8人

(iii) 監査の開催

区分	開催日	会議名/会場	主な議案等	参加人数
監査	6月3日	監査 ／日光市民活動支援センター	令和5年度事業報告・決算に係る監査	2人

(iv) 事業所長会議の開催

回数	開催日	会議名/会場	主な議案等	参加人数
1	5月15日	第1回会議 ／コミュニティカフェ おおぞら	各事業所報告	4人
2	8月18日	第2回会議 ／かがやき	各事業所報告	4人
3	10月27日	第3回会議 ／コミュニティカフェ おおぞら	各事業所報告	4人

■会員の管理

(i) 会員、支援者拡大の取組

今年度も当法人と関わりのある関係者等に声をかけ、会員拡大に取り組んだ。

区分	R5年度	前年度
正会員	24	22
賛助会員	1	0

(ii) 広報活動の充実

法人の活動を多くの方々に知っていただくため、公式Facebookページを運営し、タイムリーな情報発信を行った。

名 称 公式Facebook ページ「特定非営利活動法人おおきな木」

URL <https://www.facebook.com/nikkocity/>

■法人運営基盤の強化

昨年に引き続き、理事の役割分担等を明確にして業務執行にあたった。

■スタッフの資質向上に関する取組

(i) 法人内報「Communication Letter コトオコシヒトオコシ」の発行

職員が法人ビジョンを理解し、同じ法人で働く職員のことを互いに知ること、法人への帰属意識を高め、日々の業務に前向きに取り組めるようにすることを目的に法人内報を発行した。

名 称 Communication Letter コトオコシヒトオコシ

発行数 2回(第4号:6月、第5号:1月)

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 おおきな木

自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

会員受取会費

46,000

受取入会金

3,000

49,000

【受取寄付金】

受取寄付金

8,000

【受取助成金等】

受取補助金

4,281,139

【事業収益】

委託費

6,116,510

事業収益

15,303,700

21,420,210

【その他収益】

受取 利息

94

雑 収 益

32,650

32,744

経常収益 計

25,791,093

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当

16,554,319

法定福利費

1,515,733

福利厚生費

7,700

人件費計

18,077,752

(その他経費)

委 託 費

1,042,339

諸 謝 金

131,079

印刷製本費

107,665

広告宣伝費

143,000

会 議 費

9,422

システム管理費

270,829

旅費交通費

347,993

車 両 費

130,975

清 掃 費

811,272

通信運搬費

437,859

警 備 費

257,400

消耗品 費

233,785

修 繕 費

1,000

事 業 費

166,654

水道光熱費

261,980

地代 家賃

1,320,000

減価償却費

70,000

保 険 料

125,800

租税 公課

986,800

備品購入費

551,838

研 修 費

7,220

図書研修費

54,820

支払手数料

28,325

食 材 費

272,964

返 還 金

29,920

雑 費

279,794

賃 借 料

193,596

その他経費計

8,274,329

事業費 計

26,352,081

【管理費】

(人件費)

人件費計

0

(その他経費)

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 おおきな木

自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

会 議 費	20,621		
通信運搬費	37,851		
接待交際費	5,000		
保 險 料	700		
租税 公課	300		
支払手数料	4,070		
雑 費	40,800		
支払 報酬	561,000		
その他経費計	670,342		
管理費 計		670,342	
経常費用 計			27,022,423
当期経常増減額			△ 1,231,330
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 1,231,330
法人税、住民税及び事業税			21,400
当期正味財産増減額			△ 1,252,730
前期繰越正味財産額			8,566,359
次期繰越正味財産額			7,313,629

貸借対照表

特定非営利活動法人 おおきな木

[税込] (単位: 円)
令和 6年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	208,677		
普通預金	8,872,289		
現金・預金 計	9,080,966		
(売上債権)			
未収金	509,810		
売上債権 計	509,810		
(その他流動資産)			
立替金	95,090		
その他流動資産 計	95,090		
流動資産合計		9,685,866	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
構築物	274,167		
有形固定資産 計	274,167		
(無形固定資産)			
電話加入権	32,340		
無形固定資産 計	32,340		
固定資産合計		306,507	
資産合計			9,992,373
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	1,952,337		
短期借入金	10,000		
預り金	207,807		
未払法人税等	21,400		
未払消費税等	487,200		
流動負債合計		2,678,744	
負債合計			2,678,744
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産	8,566,359		
当期正味財産増減額	△ 1,252,730		
正味財産合計			7,313,629
負債及び正味財産合計			9,992,373

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 おおきな木

令和 6年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

科目	日光市民活動 支援センター	ひきこもり支 援センター かが やき	福祉支援事業 ちいさなき	人材育成等	事業計	おおきな木	合計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	46,000	46,000
2. 受取入金					0	3,000	3,000
3. 受取寄付金					0	8,000	8,000
4. 受取助成金等			4,281,139		4,281,139		4,281,139
5. 事業収益							
委託費		6,116,510			6,116,510		6,116,510
自主事業収益	14,100,000		1,193,700		15,293,700	10,000	15,303,700
6. その他収益							
受取利息	26	9	12		47	47	94
雑収益	32,650				32,650		32,650
経常収益計	14,132,676	6,116,519	5,474,851	0	25,724,046	67,047	25,791,093
II 経常費用							
1. 事業費							
(人件費)							
給料 手当	8,707,236	4,395,900	3,451,183		16,554,319		16,554,319
法定福利費	1,097,573	391,898	26,262		1,515,733		1,515,733
福利厚生費	7,700				7,700		7,700
人件費計	9,812,509	4,787,798	3,477,445	0	18,077,752	0	18,077,752
(その他経費)							
委託費	1,042,339				1,042,339		1,042,339
諸謝金	5,568	25,511	50,000	50,000	131,079		131,079
印刷製本費	36,656	51,463	14,546	5,000	107,665		107,665
広告宣伝費	143,000				143,000		143,000
会議費	9,422				9,422	20,621	30,043
システム管理費	216,389		32,000		248,389	22,440	270,829
旅費交通費	41,520	63,791	242,682		347,993		347,993
車両費			130,975		130,975		130,975
清掃費	811,272				811,272		811,272
通信運搬費	188,146	137,013	112,700		437,859	37,851	475,710
警備費	257,400				257,400		257,400
消耗品費	183,743	43,002		7,040	233,785		233,785
事業費	166,654				166,654		166,654
修繕費	1,000				1,000		1,000
水道光熱費		116,942	145,038		261,980		261,980
地代家賃		360,000	960,000		1,320,000		1,320,000
減価償却費			70,000		70,000		70,000
保険料	23,900		101,900		125,800	700	126,500
租税公課	641,800	278,000	67,000		986,800	300	987,100
備品購入費	451,838		100,000		551,838		551,838
研修費		7,220			7,220		7,220
図書研修費	47,100	7,720			54,820		54,820
支払手数料	21,725	4,950	1,650		28,325	4,070	32,395
交際接待費					0	5,000	5,000
食材費			272,964		272,964		272,964
返還金			29,920		29,920		29,920
雑費	16,000	39,560	224,234		279,794	40,800	320,594
支払報酬					0	561,000	561,000
賃借料		193,596			193,596		193,596
その他経費計	4,305,472	1,328,768	2,555,609	62,040	8,251,889	692,782	8,944,671
経常費用計	14,117,981	6,116,566	6,033,054	62,040	26,329,641	692,782	27,022,423
経常収支差額	14,695	△ 47	△ 558,203	△ 62,040	△ 605,595	△ 625,735	△ 1,231,330

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
構築物 下屋新設工事	700,000			700,000	425,833	274,167
合計	700,000	0	0	700,000	425,833	274,167

財 産 目 録

特定非営利活動法人 おおきな木
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和 6年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金

おおきな木 71,921

日光市民活動支援センター 41,956

ひきこもり支援センターかがやき 4,901

オアシス事業ちいさなき 89,899

現金計 208,677

普通 預金

栃銀 1,952,087

足銀 80

栃銀 514,366

栃銀 1,089,602

郵便総合1 138,965

栃銀 5,177,189

普通預金 計 8,872,289

(その他流動資産)

未 収 金

日光市役所 (かがやき) 509,810

立 替 金

95,090

その他流動資産 計 604,900

流動資産合計 9,685,866

【固定資産】

(有形固定資産)

構 築 物

274,167

有形固定資産 計 274,167

(無形固定資産)

電話加入権

32,340

無形固定資産 計 32,340

固定資産合計 306,507

資産合計 9,992,373

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

1,952,337

預 り 金

207,807

短期借入金

10,000

未払法人税等

21,400

未払消費税等

487,200

流動負債合計 2,678,744

負債合計 2,678,744

正味財産

7,313,629

役 員 名 簿

特定非営利活動法人おおきな木

役員	氏名	住所	就任期間	役員報酬
理事	峯岸和光		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無
理事	広瀬浩		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無
理事	旭山友里		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無
理事	堀口千恵		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無
理事	吉田貴光		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無
理事	吉成啓子		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無
理事	小栗卓		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無
理事	松本昌宏		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無
監事	手塚郁夫		令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	無

社員のうち10名以上の者の名簿

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人おおきな木

氏 名	住 所
峯岸 和光	
広瀬 浩	
旭山 友里	
堀口 千恵	
手塚 郁夫	
吉成 啓子	
吉田 貴光	
小栗 卓	
松本 昌宏	
松井 由和	